

玉置神社第一の鳥居訪問

熊野街道又は玉置街道、鳥居南のブッシュ整備と道標4枚設置

◇実施日… 2021年2月14日(日) 晴

◇参加者… 沖崎吉信、橋本梓、濱野兼吉、中前偉、畑林清子、大江加予子・徳子、生熊千万子、山川治雄、高階鈴子・美根子、梶野照雄

12名

梅嶺レイ著「誰も知らない熊野の遺産」より

玉置神社は熊野三山の奥の院とされ、熊野修験の行場としても重要な位置を占めている。玉置山の頂上直下に堂々たる伽藍の神社が建ち、その周囲を神代杉を代表とする巨杉軍が取りまいている。また、十津川村全域の総鎮守でもあり、村内また三重、和歌山等多くの庶民の信仰を集めてきた神社でもある。

しかし駐車場に車を置いて歩くと、何故か神社の横か裏へ出てしまう。急斜面に鎮座しているとはいえ、これほど大きな神社の参道が横や裏というのはあり得ない。よく見ると神社の正面へ登ってくる道は確かにあるが奥駈道である。一般の人が事あるごとに参拝した道が修行のためにわざわざ険しくつけられた修験の奥駈道であるはずがない。本来の表参道は一体どこにあるのか？

地元の人々に「表参道は」と尋ねても「駐車場から」という答えしか帰ってこない。車道が建設される以前の道が判らなくなってしまう

っているのである。

すっかり困り果てて古地図を調べていたある日、私は百夜月の対岸に「玉置神社一の鳥居」という文字を見つけ飛び上がった。一の鳥居とは表参道の入り口ではないか、それが地形図の等高線渦巻く峰の上にある。しかもそこは私が百夜月の伝説を調べようと何度も通った集落、百夜月の尼さんから竹の酒器を送られたという竹筒の道だった。

(梅嶺レイ…1966年生れ、写真家、医師 紀伊半島などで古い民俗信仰を残す村々の取材撮影を続けている)



九重小学校跡で



登山口の道標



登りだす

梅嶺さんの様な発想は無いが、地元としては当然知っておくべきだし、歴史ある道は残すべきである。会員の皆さんにも是非歩いて欲しいと行事予定に組み込み、1月2日に湯川君と下見も済ませた。当日朝、九重小学校跡に12名が集結し登山口のある葛山集落へ

向かう。ここ葛山集落も家が3軒のみで、住んでいそうなのは1軒のみだ。一年か二年前か判らないが地元の方が登山口の道標を設置してくれている。



謎の石垣

道標を設置

玉置神社への石柱

9時15分にスタート、4〜5分で本道（玉置街道）に合流し山腹の道を少しずつ高度を上げながら進む。この道は玉置神社への参拝道で、竹筒まで北山川を船で来て、ここを歩いて玉置神社を目指したもう一つの参詣道である。現在は歩かれることも殆ど無いはずだが、道はきれいで荒れてはいない。歴史を感じる雰囲気のある道だ。40分位で山腹を離れ左へ捲く、ここまで道沿いにあった鉄製の電柱も終わり車が通行できる作業道が出てくる。右側に広く平らな場所があって、長さ30m位、高さ1m位の石垣が見られた。猪垣ではないし、水を溜めるための物か良く判らない。この石垣の上を歩いて右側に移動する。作業道を直進しても合流するようだが、目的は古道歩きなので敢えて右側に移った。この先も横々のいい道だ。

右側に移って10分近く歩いた時、左斜面でガサガサと音がした途端、大きなイノシシがすごいスピードで斜面を駆け下り横切って行った。久々のご対面だった。



石碑文の解説

藪を刈り広げる

この先で作業道が交差した広場に着く、「石休」と呼ばれる場所なのか。玉置神社へ一里十九丁の石碑がある。その右側には明治三十七年に建立された高さ1m位幅70cm位の立派な石碑もある。徳子ちゃんも石碑の文字を解説すべく、表面をタオルで擦ったり、中前君のザックにあった歯ブラシで磨く。かなりの文字が判るようになったが、一部は表面の風化で判読不能だった。次回、タワシやブラシ持参で解説にチャレンジしよう。読むことが出来た文字によると、道の開通記念碑のようだ。小休止の後出発、鳥居まであと少しだがこの先にブッシュが待っている。事前にノコ、鎌の持参をお願いしていたが、梶野君はヘッジトリマー、新調の刈込バサミ持参もあり、整備を行う100mほどの距離を30分少々で刈り払出来

た、皆さんご苦労様でした。



鳥居に到着



倒木を切除



本日の参加者

刈り広げたブッシュが終わると鳥居が見える。橋本さんと沖崎以外の皆さんは初めてのご対面ようだ。

昼食は鳥居先の作業道広場で。食後、鳥居下で集合写真に納まり下山した。

この旧表参道「一の鳥居」は何百年も前から存在していたが、10年位前に倒壊しそのままになっていた。しかし2019年に再建、同年5月9日、奉納した十津川村森林組合の関係者や持地元の方々30名が完成を喜び神事を行った。

我々ぐるーぷは南奥駆道での維持管理が主な活動であるが、同時に歴史ある道の存続にも注力したく思っている。

(記・沖崎 写真・梶野)

### 行動タイム

08:50 九重小学校跡→09:18 登山口→10:37 作業道広場 11:25 鳥居→12:17→12:55 作業道広場→13:50 登山口